福岡ブロック PTA 連合会

# PTA と上部団体の関わりに関するアンケート

## 調査結果報告（校長・教頭向け調査）

回答数 108 人

本アンケートは、一般会員・役員経験者・校長・教頭の 3 種類で実施しました。本資料はそのうち校長・教頭向け調査の結果をまとめたものです。

## 1. 調査の目的

福岡ブロック PTA 連合会は、会則第 4 条に定める調査研究活動として、本アンケートを実施しました。

目的は、単位 PTA と上部団体（区市郡 P 連・福岡ブロック P 連・県 P 連）の関係について、会員・役員経験者・学校それぞれの実感を把握し、双方にとって望ましい関わり方を考える材料とすることです。

本調査は、各単位 PTA に組織の見直し（任意加入化や退会の手続きなど）を求めるものではありません。

## 2. 調査の概要

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 調査対象 | 福岡ブロック内の小・中学校の校長・教頭 |
| 調査方法 | Google フォームによるオンライン回答（各校を通じて案内） |
| 回答期間 | 2026 年 7 月 6 日〜9 月 9 日 |
| 回答数 | 108 人 |
| 地区別の回答数 | 筑紫区 50 人（46.3%）、宗像区 21 人（19.4%）、糸島市 25 人（23.1%）、糟屋区 12 人（11.1%） |

結果を読むときは、次の点にご留意ください。

- 回答数は 108 人です。地区によっては回答数が 12 人と少なく、少数の回答で割合が大きく動く点にご留意ください。
- Q3a〜Q3d は、上部団体の役員・理事・事務局を経験した方（52 人）のみが回答しています。
- Q16（今後のあり方）は複数選択です。役員経験者向け調査の同じ趣旨の設問は単一選択のため、割合を直接比べることはできません。

## 3. 結果のポイント

1. 上部団体の活動への参加で学校や PTA が「得られるものがある」（十分・多少）は 70.4%でした。
2. 上部団体の役職が回ってきたとき、PTA 役員に対して「正直、役員さんへの負担が心配だ」は 50.9%でした。
3. 輪番制について「仕方ないが、問題も多いと思う」は 49.1%、「公平で合理的な方法だと思う」は 15.7%でした。
4. 今後のあり方（複数選択）は「縮小・スリム化」57.4%、「抜本的に見直し」32.4%、「解散・統廃合を検討してもよい」20.4%、「現状維持」7.4%、「さらに充実」1.9%でした。

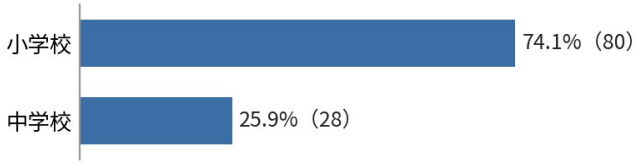
5. 事務局などを経験した方の負担は「案内文書の作成・配付」（63.5%）が最も多く、軽減策は「開催規模・内容の縮小」（69.2%）が最多でした。

## 4. 設問ごとの結果

グラフの数値は「割合（回答数）」です。割合は各設問の回答者数を分母に、小数第 2 位を四捨五入しています。複数選択の設問は合計が 100%を超えます。

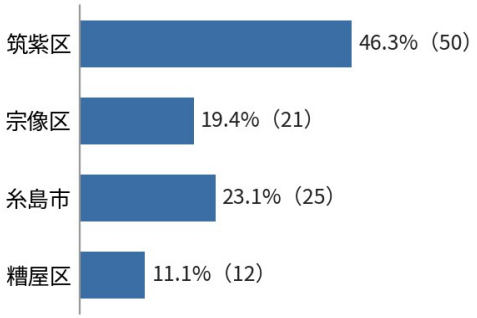
### Q1. 学校種別を教えてください

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



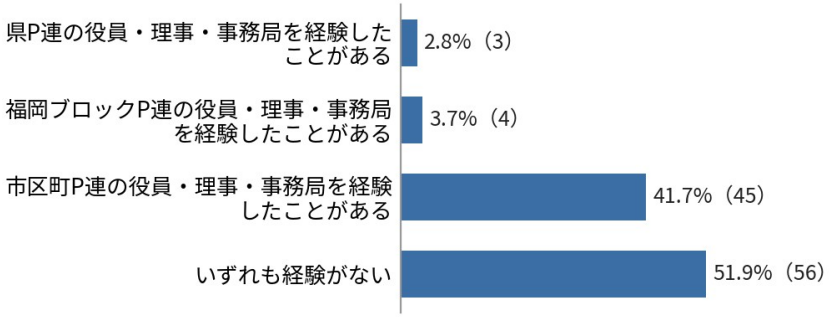

### Q2. 学校が所属する地区を教えてください

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



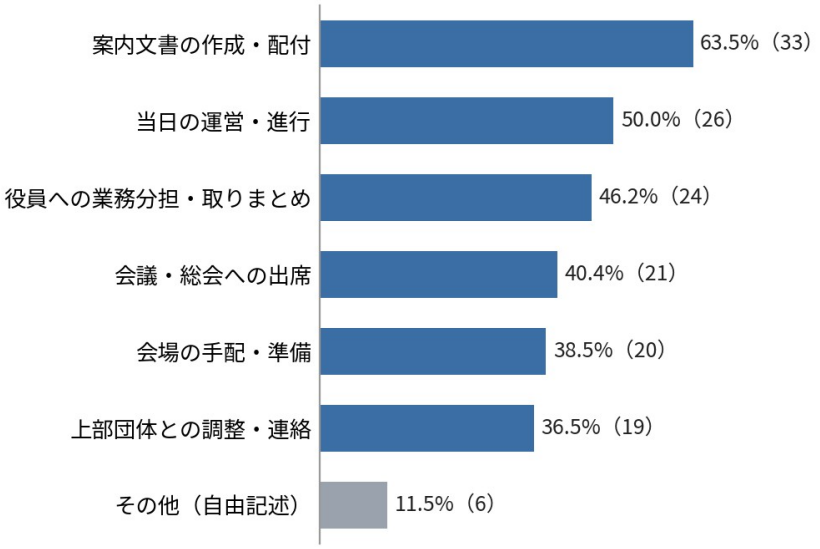

### Q3. 上部団体への関与経験として、最も上位のものを選んでください

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



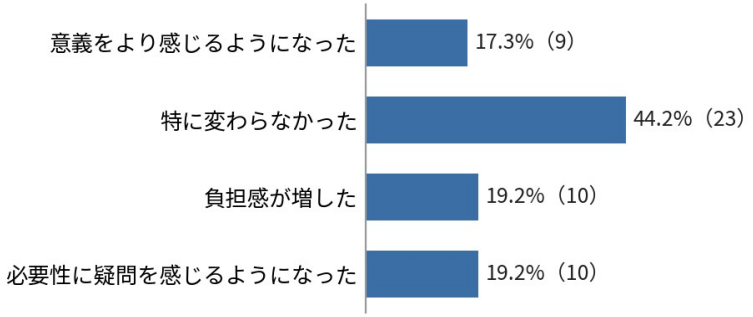
## Q3a. 上部団体の役員・理事・事務局としての業務で、特に負担が大きかったことは何ですか？（複数選択可）

回答者 52 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



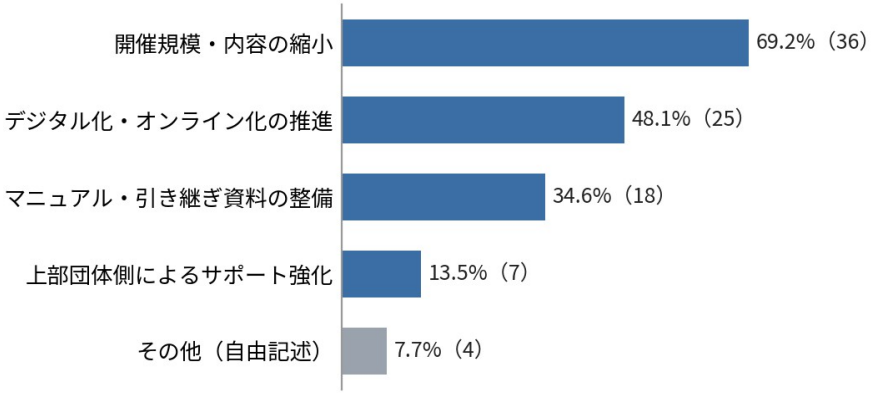

## Q3b. その経験を通じて、上部団体の活動に対する見方は変わりましたか？

回答者 52 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



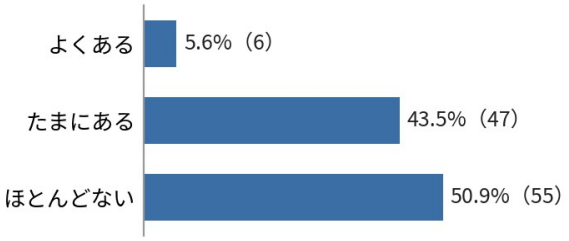

## Q3c. 上部団体の役員・理事・事務局業務の負担を軽減するために、効果的だと思うことは何ですか？（複数選択可）

回答者 52 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



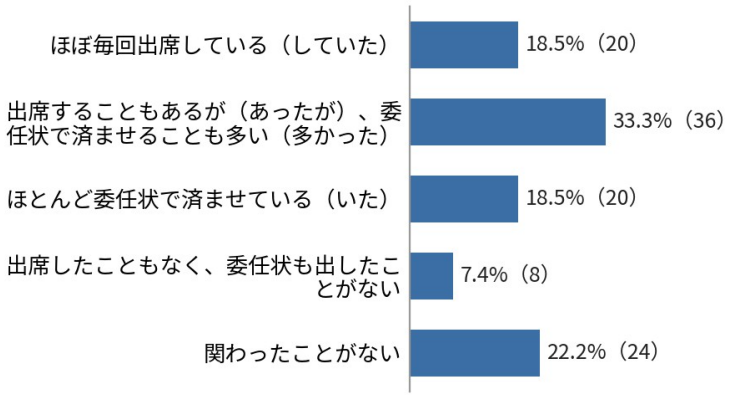
## Q4. 上部団体の行事・研修に、学校として関わる機会がありますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



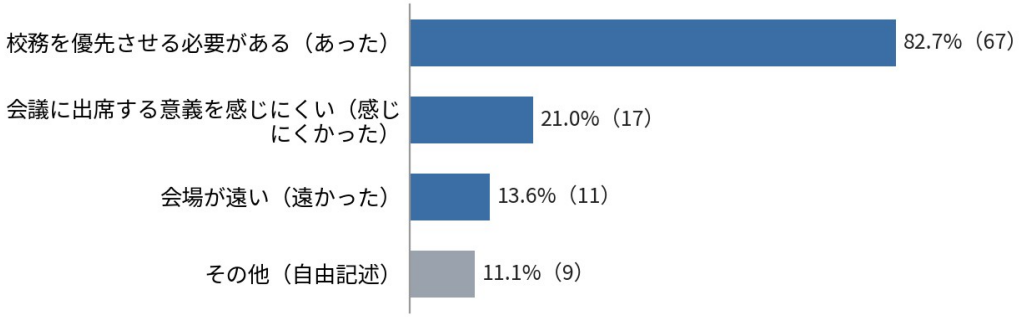

## Q5. 上部団体の会議・総会への出席について、実態を教えてください

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



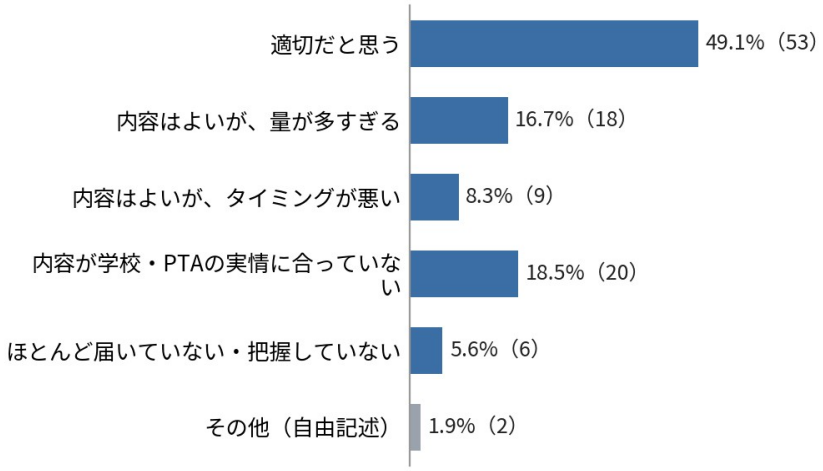

## Q6. 出席しない（しなかった）ときの主な理由は何ですか？（複数選択可）

回答者 81 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



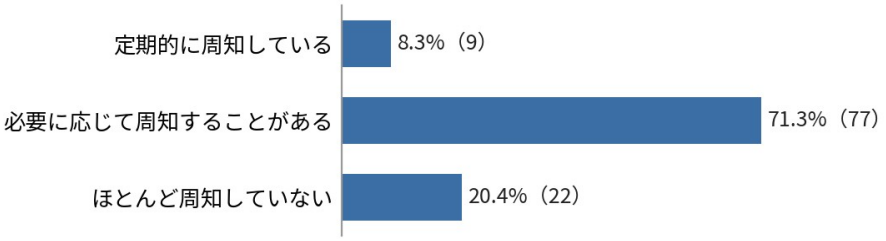

## Q7. 上部団体から学校に届く案内・情報は、内容・量・タイミングとして適切だと思いますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



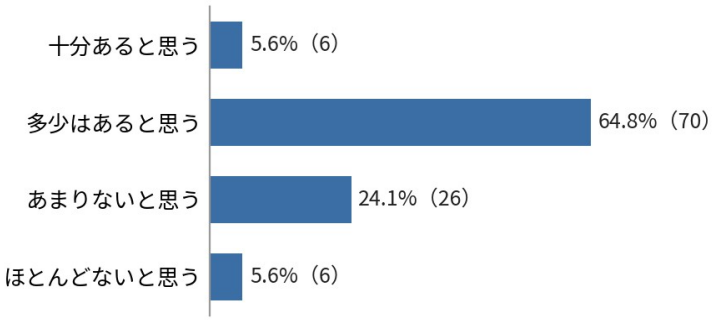
## Q8. 上部団体の活動について、保護者に周知する機会はありますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



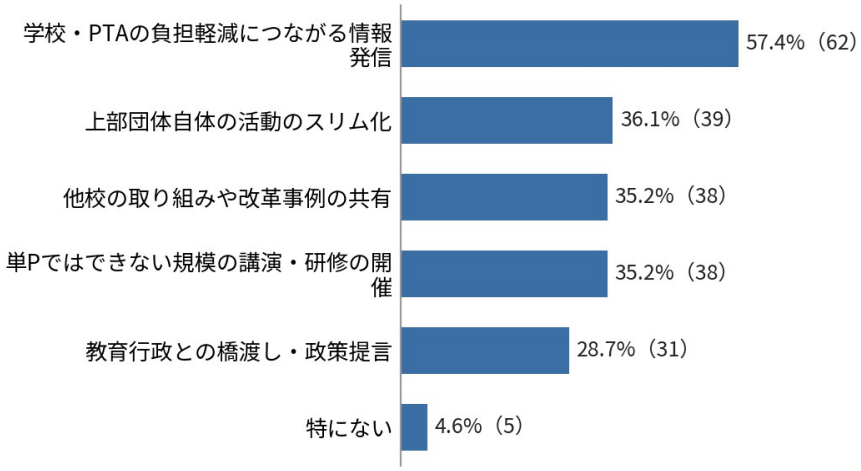

## Q9. 上部団体の活動に参加することで、学校や PTA にとって得られるものがあると思いますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



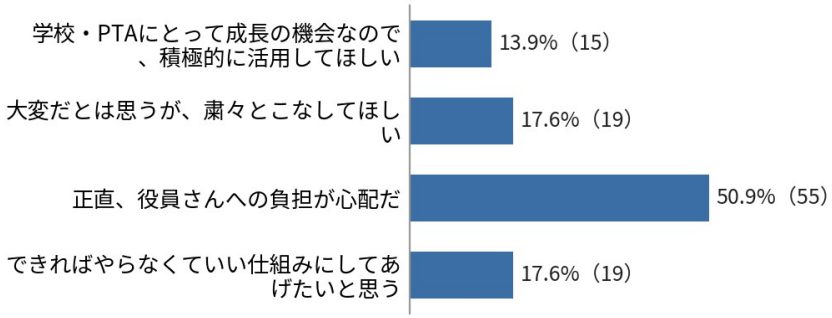

## Q10. 上部団体に期待する役割は何ですか？（複数選択可）

回答者 108 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）



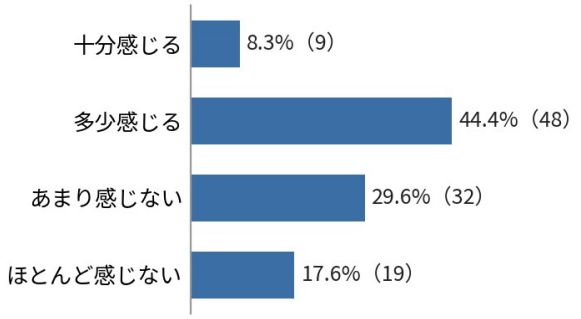

## Q11. 上部団体の役職が回ってきたとき、PTA 役員の皆さんにどう臨んでほしいと思いますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



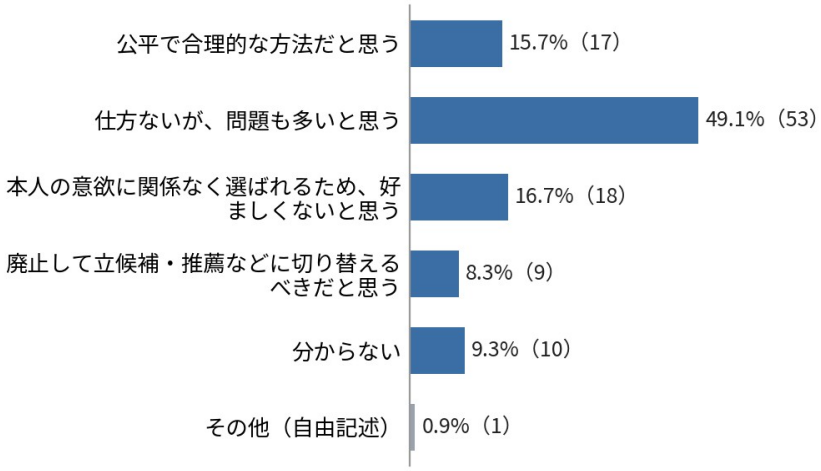
### Q14. 上部団体との活動を通じて、他校・他地域とのつながりができたと感じることがありますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）



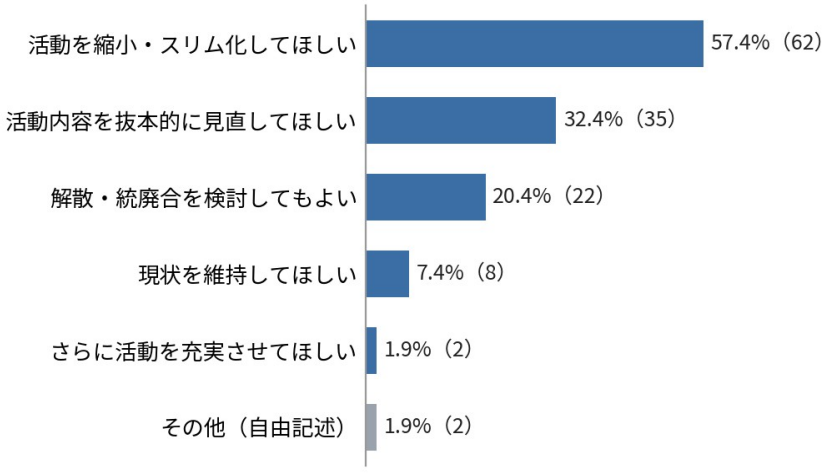

### Q15. 上部団体の役員・理事・事務局当番が輪番制（順番制）で割り当てられることについて、どう思いますか？

回答者 108 人／単一選択（選択肢は調査票の順）




### Q16. 上部団体の今後のあり方として、望ましいと思うものはどれですか？

回答者 108 人／複数選択（多い順。「特にない」等は末尾）




## 5. 地区別の結果（主な設問）

主な設問について、地区ごとの回答割合を示します。回答数が少ないため、参考値としてご覧ください。

### Q9. 上部団体の活動に参加することで、学校や PTA にとって得られるものがあると思いますか？

単位：%

| 地区（回答数） | 十分ある | 多少ある | あまりない | ほとんどない |
|---|---|---|---|---|
| 筑紫区（50） | 4.0 | 68.0 | 22.0 | 6.0 |
| 宗像区（21） | 14.3 | 71.4 | 9.5 | 4.8 |
| 糸島市（25） | 4.0 | 64.0 | 24.0 | 8.0 |
| 糟屋区（12） | 0.0 | 41.7 | 58.3 | 0.0 |
| 全体（108） | 5.6 | 64.8 | 24.1 | 5.6 |

### Q15. 上部団体の役員・理事・事務局当番が輪番制（順番制）で割り当てられることについて、どう思いますか？

単位：%

| 地区（回答数） | 公平で合理的 | 仕方ないが問題も多い | 好ましくない | 廃止して立候補・推薦に | 分からない | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 筑紫区（50） | 22.0 | 46.0 | 12.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 |
| 宗像区（21） | 19.0 | 52.4 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 糸島市（25） | 4.0 | 48.0 | 24.0 | 16.0 | 8.0 | 0.0 |
| 糟屋区（12） | 8.3 | 58.3 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 8.3 |
| 全体（108） | 15.7 | 49.1 | 16.7 | 8.3 | 9.3 | 0.9 |

### Q16. 上部団体の今後のあり方として、望ましいと思うものはどれですか？

単位：%（複数選択のため合計は 100%を超えます）

| 地区（回答数） | 充実 | 現状維持 | 抜本的見直し | 縮小・スリム化 | 解散・統廃合 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 筑紫区（50） | 0.0 | 8.0 | 28.0 | 66.0 | 14.0 | 0.0 |
| 宗像区（21） | 4.8 | 14.3 | 33.3 | 42.9 | 9.5 | 4.8 |
| 糸島市（25） | 4.0 | 4.0 | 24.0 | 60.0 | 36.0 | 4.0 |
| 糟屋区（12） | 0.0 | 0.0 | 66.7 | 41.7 | 33.3 | 0.0 |
| 全体（108） | 1.9 | 7.4 | 32.4 | 57.4 | 20.4 | 1.9 |

## 6. 自由記述

Q17（自由意見）には 20 件、Q3d・Q12・Q13 にも記述がありました。

### 主な声（要約）

個人や学校が特定されないよう、趣旨を要約して掲載しています。

- 事務局校になると、通常業務に加えて教頭の負担が大きい。PTA 本部役員との分担や人員の配置を考えてほしい。
- 引き継ぎが事務作業になりがちで、活動の意義が伝わりにくい。目的を含めた引き継ぎ書があるとよい。
- ICT の活用や、勤務時間内での実施を進めてほしい。
- 上部団体と単位 PTA の関係を図で整理してほしい。保護者に説明したい。
- 例年踏襲では無理がある。必要な部分とそうでない部分を精査し、時代に合った形にしてほしい。
- PTA は必要な組織であり、この結果をもって活動を安易になくしたり縮小したりしないでほしい。
- 保護者のつながりは大切。存続のためにも負担を減らし、活動をスリム化する必要がある。

### 「なくなったら困るもの」「あってよかった場面」（Q12・Q13）

- 保険保障制度、各校とのつながりや活動の共有、教育行政への提言、補助金の分配、表彰制度（すでに終了したものを含む）。

・ 他校の取組が新たな取組のヒントになったこと、学校単独では判断に迷う内容を市や区単位で共通理解できたこと。

## 7. おわりに

本調査では、上部団体に一定の価値を認めつつ、負担を軽くして続ける方向を望む声が多く寄せられました。事務局業務の負担についても具体的な声をいただきました。

結果は、2027 年 1 月の福岡県 PTA まなびのひろば福岡ブロック研修会の資料として活用します。

ご回答いただいた皆さまに、心よりお礼申し上げます。

福岡ブロック PTA 連合会